



—ふくしまの未来のために復興を支援します—

一般財団法人 福島市町村支援機構

土木

只今、国道294号 福良バイパスを整備中 ～福良バイパス周辺の魅力に迫る～



本線は、県南地方と会津地方を結ぶ重要路線であり、福良工区(L=2.2km)と赤津工区(L=2.5km)の2つの整備を進めております。幅員狭小、屈曲箇所を解消することにより、安全で円滑な交通を確保します。併せて、バイパス化により騒音・振動といった沿道環境の改善も図ります。

当機構は、同工区の積算業務を受託しました。

現在、福良工区の約70%が完了しており、今年の3月から工事着手した赤津工区も作業を進めている状況であり、早期の開通に向け着々と工事が行われております。

ぜひ福良バイパスを活用し、湖南町周辺を訪れてみてはいかがでしょうか。そこには、今まで見過ごしていた新たな発見が待っているかもしれません。

今後も土木事業を支援してまいります。



福良バイパス周辺には、豊かな自然だけでなく、キャンプ場や温泉、史跡・文化財・天然記念物にも恵まれた魅力あふれる場所が数多く存在しています。これからの磐梯山では、秋の紅葉が目前に広がり、冬には雪が山全体を覆い、季節ごとに美しい景色を堪能できます。

猪苗代湖は、その美しさから日本100景にも選定されている県内有数の景勝地となっています。天鏡湖と呼ばれるように気候条件が合えば、磐梯山の影が湖面に反射する鏡張り現象を見ることができます。その美しい姿はまさに絶景です。磐梯山と猪苗代湖を一望できるこの地域は、貴重な存在ではないでしょうか。

風の高原と呼ばれる布引高原では、8月中旬から9月上旬にかけて、ヒマワリとコスモスの花畑が一面に広がります。また、この高原には、高さ100mの風力発電機が33基立ち並び、高原の風を受けてゆっくりと回っています。清水川の梅花藻（ばいかも）は、“金魚草”の名で親しまれる可愛らしい白花で心に安らぎを与えてくれます。このように福良バイパス周辺は、今まで見たことない四季折々の自然の魅力が詰まった地域です。

(土木1課 Tel 024-522-5122)

橋梁の架替事例を紹介します

河川を挟んで両岸に集落が発展した地域では、橋梁が交流・連携の要となっており、日常生活に必要不可欠な存在となっています。

今回は、このように重要な社会基盤として地域の生活を支える橋梁であり、令和元年6月に架替え工事が竣工した本宮市の矢沢橋について紹介します。

当機構は、詳細調査・新橋設計・旧橋撤去設計・積算業務を受託しました。

旧矢沢橋は、昭和30年代に架設し、供用されていたコンクリート桁橋で、橋梁定期点検により広範囲にわたる桁下面のひび割れが確認されたため、長寿命化計画に基づき、橋梁詳細調査によりコンクリート及び鉄筋の健全性を確認しました。その結果、コンクリート強度や鉄筋の発錆状況に著しい変状・劣化は無いものの、橋軸直角方向に多くの曲げひび割れがみられたところです。

ひび割れの状況から、耐荷力の低下が想定されたため、調査結果を基に復元設計を行い、構造計算により応力度照査を行いました。構造計算では、現況の交通荷重に対して上部工の応力度超過が見られ、劣化状況から補強対策も困難であることが判明しました。

旧橋の継続的な供用が不可能であることから、補修補強による延命化対策から箱型函渠による架替え更新を行う方針に転換し、新橋設計・旧橋撤去設計を行いました。

工事は平成30年より着工され、令和元年6月に竣工を迎えました。

新橋架替えにより現在の基準である車両総重量25tまで走行できるようになりました。



○旧橋諸元

- ・上部工形式:1 径間単純 RCT 桁
- ・下部工形式:重力式橋台
- ・架設年次:昭和 30 年代
- ・橋長:8.9m
- ・幅員(有効):4.4m(4.0m)
- ・路下:三面張水路



○新橋諸元

- ・構造形式:箱型函渠
(幅 4.5m × 高 4.0m)
- ・橋長:5.1m

○ワンポイント

橋梁を構成する部材が健全でも、橋梁設計時に想定している交通量や走行する車両重量の増加など供用条件が変化することで耐荷力が不足し、補強対策や通行荷重の制限、架替えが必要となる場合もあります。

構造技術課は、橋梁の維持・補修に係る点検・設計・積算・施工管理を支援しております。
どうぞお気軽にご相談ください。

(構造技術課 TEL 024-572-6321)

飯館村「ふかや風の子広場」が竣工しました

飯館村深谷地区の復興拠点エリアに昨年5月より整備が進められてきた多目的交流広場「ふかや風の子広場」が完成し、8月8日、竣工式典が行われ9日から一般開放されました。

当機構は、復興拠点エリア全ての工事において、当初及び変更積算業務・現場管理業務を受託しました。

復興拠点には、道の駅「まてい館」や災害公営住宅、花卉栽培施設などがすでに整備されており、広場の完成で復興拠点エリアの整備が概ね完了しました。

広場は、面積約1.27haのなかに、多彩な屋外用遊具12基を設置、季節の花々も楽しめる遊歩道や屋内運動施設「ひみつ基地どきどき」も整備されており、子どもからお年寄りまで楽しめる広場となっております。

今後も市町村事業を支援してまいります。



(左):復興拠点全景
(右上):ふかや風の子広場
(右下):ひみつ基地どきどき内
観
ドローン撮影者:渡邊泰徳

(土木2課 TEL 024-522-3095)

矢吹町複合施設 KOKOTTO(コcott)が竣工しました

矢吹町の複合施設「コcott」が本年7月に竣工し、10月14日にプレオープンしました。

当機構は、当該建設工事の計画策定、設計及び工事監理の監督員支援業務を受託しました。

施設の構造は鉄骨造一部木造2階建て、規模は本体床面積2,971㎡となっています。

本施設には「公民館機能」「図書館機能」「子育て世代活動支援機能」「観光交流機能」の4つの機能が複合化・集約化されており、それぞれの機能が有機的に連携することで、これまでない活動スタイルや世代間の交流が生まれ、中心市街地の賑わい創出の基点となることを目指しています。



(上左から):外観パース、屋台蔵、
多目的ホール
(左から):エントランス、図書館、
子育て室

(建築課 TEL 024-522-5124)

学校のネットワーク環境整備を行っています

現在、全国の小中学校で2019年末に文部科学省が打ち出した GIGA スクール構想による学校の ICT 環境整備が進められています。

GIGA スクール構想の目標は「公正に個別最適化された学び」の実現と児童生徒1人1台の PC 端末導入と通信ネットワーク環境整備を行うことです。国の示した GIGA スクール構想実現パッケージの仕様に合わせ、高速大容量回線の接続可能な校内通信ネットワークの構築を行います。 ※ GIGA : Global and Innovation Gateway for All

当機構は、県内各校の通信ネットワーク整備の設計や工事監理の支援を行い、GIGA スクール実現に協力しています。



(設備課 TEL 024-522-5121)

新型コロナウイルス感染防止対策を実施し、研修を開催しております

コロナ禍の中で、今年の夏は長雨から猛暑となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

前号にて当機構で実施する研修では、新型コロナウイルス感染防止対策を行い、研修を開催する旨をご紹介しましたが、その後研修は予定どおり進められている状況です。

しかし、感染防止対策の一つとして、研修参加者の人数を調整せざるをえない状況となっており、研修に参加できなかった方については、ご迷惑をおかけして申し訳ありません。

なお、下記写真は、今年度とH31年度の研修の様子ですが、前号での感染防止対策に加え、座る位置の間隔を空けているため、比較すると一目瞭然です。

また、後部座席の活用も増加したため、後部でも見やすくなるようスクリーンを2つ設置しております。

最後になりますが、研修への参加については、体調が悪い方にはお断りすることがありますので、ご了承ください。

〈今年度〉



〈H31年度〉



(総務課 TEL 024-522-5123)

【編集・発行】 〒960-8043 福島県福島市中町 7-17 一般財団法人ふくしま市町村支援機構

TEL : 024-522-5123 (代表) FAX : 024-522-3631 E-Mail : info2@fctc.or.jp URL : https://www.fm-so.org/